

講義名	品質管理論		
担当教員	多井 剛		
開講期・曜日・時限	後期 水曜日 3時限	授業形態	講義
履修開始年次	3年生	単位数	2
備考			
<b>主題と概要</b>			
<p>ものづくりやサービスに於いて品質の確保が重要です。そこで、本講義では品質の定義及び考え方の説明を行い、品質の管理と維持方法について説明する。また品質管理について品質管理検定3級、4級程度の実力を身につけることを目標とする。</p>			
<b>到達目標</b>			
<p>(1) 品質と品質管理について説明できるようになる。  (2) 品質の維持、改善のための手法を活用できるようになる。  (3) 品質の維持、改善活動の計画と実行ができるようになる。  (4) 品質管理検定3級、4級検定に対応できる実力を身につける。</p>			
<b>提出課題</b>			
品質管理検定4級程度の課題回答を求める。			
<b>課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック</b>			
課題の講評を授業中に行います。			
<b>評価の基準</b>			
提出課題と期末テストの内容・回答を総合的に評価します。			
<b>履修にあたっての注意・助言他</b>			
良い成績を修めるためには、ノートを書くことが必要です。			

<b>教科書</b>				
.プリント資料を配布する。.				
<b>プリント資料及び参考文献</b>				
品質検定4級の手引き（品質管理検定センター）印刷して配布します。				
<b>授業計画</b>				
第1回 ものづくりと品質について 第2回 品質と品質マネジメント（ISO）について 第3回 付帯プロセスとは 第4回 OC的問題解決方法とは 第5回 OC的考え方、分析方法（データ総理） 第6回 OC的考え方、分析方法（パレート図） 第7回 OC的考え方、分析方法（特性要因図） 第8回 OC的考え方、分析方法（ヒストグラム） 第9回 OC的考え方、分析方法（正規分布） 第10回 OC的考え方、分析方法（散布図） 第11回 OC的考え方、分析方法（管理図） 第12回 OC的考え方、分析方法（チェックシート） 第13回 OC的考え方、分析方法（親和図法） 第14回 OC的考え方、分析方法（アローダイアグラム） 第15回 まとめと演習				
<b>授業形態（アクティブ・ラーニング）</b>				
	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク	
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク	
	キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）			
<b>準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間</b>				
シラバスに従った予習と配布された講義内容に基づいた復習を期待する。 講義内容について、小テストを行うこともあるので、授業後に20分以上の復習を行うこと。 また小テストの内容は講義では説明していない関連項目に及ぶこともあるので講義テーマについての自主学習を期待する。特に復習については問題意識を持った幅広い自主学習を期待する。 予習と復習を合わせて4時間以上が必要。				
<b>卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連</b>				
製造業の経営について、品質管理の課題と解決方法について事例を通して将来の問題に活用できる人材になるように講義を行う。				
<b>双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述</b>				
学修の進捗を確認するため、Responを利用して復習テストを行います。				
<b>実務経験の有無及び活用</b>				
実務経験20年あり （プログラマー システムエンジニア ICTコンサルタント） ICTによる組織の問題解決に必要な事例を授業内で解説します。				
<b>備考</b>				
品質管理検定(OC検定)の4級、3級に合格できる内容になっています。				